

2019年1月3日

時事通信 (181219 時事通信も)

改憲発議、秋へ仕切り直し＝続く対立局面、参院選前難しく一自民、国民民主に触手

時事通信 2019-01-03 14:26

自民党は今年、憲法改正に向け仕切り直しを図る。夏の参院選までは日程が窮屈で改憲案の国会発議は難しい情勢。今月召集の通常国会で投票機会を拡大する国民投票法改正案の処理を急ぎ、秋に想定される臨時国会以降の進展を目指す方針だ。連携相手として国民民主党にも触手を伸ばす。

安倍晋三首相は 2020 年の改正憲法施行を目標に掲げている。先月 30 日放送のラジオ日本番組では「最終的に決めるのは国民だ。(衆参) 憲法審査会で各党が考えを持ち寄って議論しないと国民的議論も深まらない」と述べ、与野党の論議に期待を示した。

自民党は首相の意向を受け、先の臨時国会で 9 条への自衛隊明記など 4 項目の党改憲案提示を目指した。だが、衆院憲法審査会開催を強行したこともあって野党が反発し、断念した。公明党は参院選を控えた通常国会での提示に反対の考えを自民党へ内々に伝えている。自民党憲法改正推進本部関係者は「出しても議論は進まない」と通常国会でも見送る考えを示す。

参院選までは 19 年度予算案の審議や統一地方選など野党の対立局面が続く、皇位継承や 20 カ国・地域 (G20) 首脳会議の大阪開催と重要行事も入る。静かに改憲論議を進める環境がなく、首相周辺は「通常国会で国民投票法改正をどこまでできるかだ」と指摘。党関係者は「発議は来年の通常国会。早くても今年の臨時国会だ」と語った。

◇3分の2割り込みか

ただ、参院選後も発議に必要な 3 分の 2 の勢力 (164 議席、新定数 245) を維持できる保証はない。改憲勢力と目される自公と日本維新の会、希望の党の参院現有議席は計 164。自民党は大勝した 13 年当選組が改選を迎えるため、議席減は不可避との見方が大勢だ。

このため、自民党は改憲論議自体には前向きな国民民主の取り込みを模索。同党関係者によると、自民党側から「『話がしたい』と猛烈なアプローチがある」という。維新幹部も「首相官邸は国民民主を加えて 3 分の 2 を確保できればいいと思っている」とみる。

これに対し、立憲民主党は改憲に向けた動きを阻むため、国民投票期間中の CM 規制の検討を優先するよう主張する。自民党内にも CM 規制を野党論議の呼び水にする案はあるが、立憲側は「検討には今年いっぱいかかる」(幹部) と予防線を張っている。

改憲「道筋付ける覚悟」＝自民運動方針、原案判明

時事通信 2018年12月19日18時59分

自民党の 2019 年運動方針の原案が 19 日、判明した。安倍晋三首相 (党総裁) が宿願とする憲法改正について「道筋を付ける覚悟」と強調。統一地方選と参院選がある同年を「政治決戦の年」と位置付け、「総力を挙げて統一選の必勝を期し、勢いを加速させ参院選で勝利を得る」と明記した。党内調整を経て 2 月の党大会で採択される。

改憲をめぐり、自民党は先の臨時国会では 4 項目から成る党独自案の提示を見送り、1 月召集の通常国会での提示を目指している。

原案は「わが党は憲法改正を党是とした保守政党である」との立場を重ねて明確にし、「これまでの経過を尊重しつつ、改めるべきは改める」と表明。国会発議に向けて柔軟に対応する姿勢をにじませた。